

事業番号	07 05 04	事業改善シート(27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	技能検定実施事業費			担当課	部局	産業労働部	
総合5か年計画	プロジェクト	1-1 信州をけん引するものづくり産業の振興 4 人材の育成・確保 1-6 職業能力の開発と安心できる雇用・就業環境づくり 1 職業能力開発の推進			課・室	人材育成課	
	施策の総合的展開				E-mail	jinzai@pref.nagano.lg.jp	
					実施期間	S54 ~	

1 事業の概要

目指す姿	国家検定である技能検定の着実な実施により、技能に対する社会一般の評価を高めるとともに、労働者の技能と地位の向上を目指す。	
現状(予算編成時)	<p>○長野技能五輪・アビリンピックで高まった若年技能・技術者の育成の取組等を継続させ、本県のものづくり産業を支える人材の確保・育成につなげることが重要である。</p> <p>○特に、若年者のものづくり離れが見られる中、積極的な受検奨励を行い、若年者の受検者数を増加させていく必要がある。</p> <p>○平成27年度より、機械保全職種の実施が指定試験機関に移行し、受検者数の大幅減(約700人減)に伴う手数料収入の減が見込まれる中、安定的な技能検定の実施が課題となっている。</p>	
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務) 県民との協働による実施: 実施は困難	【左記の説明、根拠法令等】 技能検定は県の自治事務である、また、ものづくり人材の育成には県の支援が効果的である。(職業能力開発促進法、県職業能力開発事業補助金交付要綱等)

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)				
	<p>○前年度並みの技能検定受検者数(機械保全職種の受検者数を除く)の確保(4,000人以上)</p> <p>○高校生の受検者数の増(H25実績:328名、目標:機械保全職種の受検者数を除き300人以上)</p>				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H27実施内容	H27	
			(予算案)	(決算)	(当初)
技能向上対策費補助金	補助金	・長野県職業能力開発協会に対する補助	46,788	46,788	51,640
技能検定の実施	直接	・技能検定合格証書等の作成・交付等	2,345	1,311	2,349
		合計	49,133	48,099	53,989

事業コスト	区	分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額	前年度繰越				
		当初予算	39,385	37,009	49,133	53,989
		補正予算				
		合計(A)	39,385	37,009	49,133	53,989
	Aの財源	一般財源	19,755	19,267	25,352	27,782
		県債				
		国庫支出金	18,688	17,700	23,739	26,165
		その他	942	42	42	42
	決算額(B)	37,364	36,891	48,099		
概算人件費	職員数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60	
	概算人件費(C)	4,955	4,955	4,966	4,966	
	概算事業費(B(A)+C)	42,319	41,846	53,065	58,955	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
技能検定受検者数	4,839人 ※(4,118人)	4,000人	4,043人	達成	4,000人
高校生の受検者数	413人 ※(380人)	300人	325人	達成	300人
	※機械保全職種の受検者数を除いた数値				

目標に対する成果の状況	・関係機関と協力して事業を実施し、技能検定受検者数、高校生の受検者数ともに成果目標を達成した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	・引き続き関係機関と協力しながら事業を継続し、技能に対する社会一般の評価を高め、労働者の技能と地位の向上を目指す。